

新型コロナウイルス感染症ワクチンについて



はしもとかずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 境界知能にある方々への支援
- ※カスタマーハラスメント防止対策

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 新型コロナウイルス感染症は5類となり、ワクチンは任意接種となった。高齢者の多い本市、正確な情報が求められる。10月1か月間でどのくらいの方がワクチン接種されたのか、ワクチンの種類を伺う。また県から市に移管された相談窓口の相談状況も併せて伺う。

答弁 新型コロナウイルスワクチンについては今年度より重症化する割合の高い65歳以上の方及び60歳から64歳までで心疾患等一定の基礎疾患を有する方などを対

象としたB類定期接種として10月より接種を開始した。使用するワクチンの種類と数量は、国が承認しているワクチンとしては、mRNA（メッセンジャー）ウイルス（エヌエー）ワクチンとして4種類、組換えタンパクワクチンとして1種類の合計5種類である。現在、市民の接種に使用しているワクチンについてはファイザーと第一三共のmRNAワクチンで、その比率は前者が概ね9割、後者が1割となっている。10月の接種開始から1か月間

の接種者数は963人で、65歳以上人口の6・5%にあたる。なお、令和5年に実施された秋接種の同年12月末時点の接種率は48・7%となっている。また、窓口での相談状況について、10月の接種開始以降、対応した事案は特にない。

公共交通について

小中学生の学力・学習状況調査について

質問 6月に公共交通計画が公表され、まもない9月に湯く遊くバスが運行停止となった。原因は運転士不足とのことだが、必要な運転士の数や採用実績を市は把握しているのか。

答弁 必要な運転士については、統計により把握している。採用実績等については、バス会社が他の地域も含めて人数を調整しているため、回答は難しいとのことであり把握できていない。

質問 それも分からず、向こう5年間バス路線現状維持とする計画の妥当性は、今も減便が続いているが。

答弁 バス会社が早期再開を目指していることを聞いており、解消を見込むと考える。

意見 根拠が無く、まるで他人事。路線縮小に対する備えがまるで考えられていない。

いない。縮小された時の悪影響が大きい路線、代替措置が可能な路線を早期に把握すべき。

質問 国の学習状況調査によると、本市では動画やSNSを長時間視聴する児童・生徒が「かなり多い」と評されている。具体的な値は

答弁 小学校中学校で若干の違いはあるが、1日3時間以上ゲーム・動画視聴等に費やしている割合は、小学生で38・3%（全国比+8ポイント）、中学生で42・5%（同+10ポイント）。スマホ等の所持率上昇や、家庭学習の重要性の認識が希薄であることが原因と考えられる。

意見 スマホの所持率上昇は、熱海だけではなく、う。では、なぜ熱海でこうなるのか。子どものあそび場が少ない等、構造面から考えて欲しい。



やまだ かげあき
山田景照 議員

新政熱海

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- インバウンド需要捕捉に向け
- ※OTA活用の徹底

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから

